

(一般屋内用)

品番 FYY54020F

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

取付前のご確認事項

- この器具は、次の適合吊具を各1台必要とします。

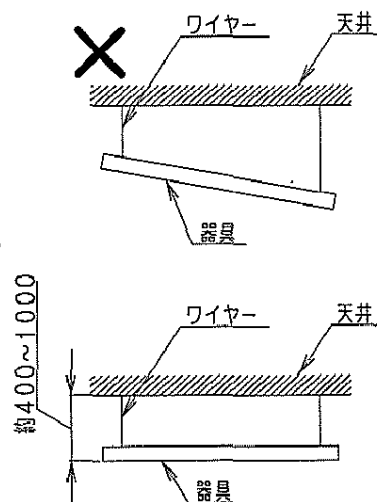
適合吊具

品 名	品 番
ワイヤー吊具 端用電源線付	FYY80000
ワイヤー吊具 端用	FYY80001

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧 $\pm 6\%$ ）・周波数以外の電源で使用しない。
感電・火災の原因となります。
- この器具は吊下げ（ワイヤー）専用器具です。当社適合吊具以外は使用しない。
落下の原因となります。（吊具の取扱説明書又は、カタログにてお確かめください。）
- 傾斜天井・壁面への取付はしない。落下の原因となります。
- この器具を傾斜させて取付しない。落下の原因となります。
- この器具は2本吊り専用です。これ以外の本数での取付けはしない。落下の原因となります。
- 開放廊下等、風の強い所では振れ止め処理を行う。（別途）
- この器具の設定可能高さは約400mm～約1000mmです。
これ以外の長さでワイヤー吊りをしない。落下の原因となります。
- ワイヤー長さ調整時は、手で支えながら行う。
器具を支えずに長さ調整を行うと、落下の原因となります。
- 吊具に衝撃が加わった場合は、異常が無いか確認する。
異常があるまま使用すると、落下の原因となります。



⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では、使用しないでください。火災の原因となります。

各部のなまえと取付方法

⚠ 警告

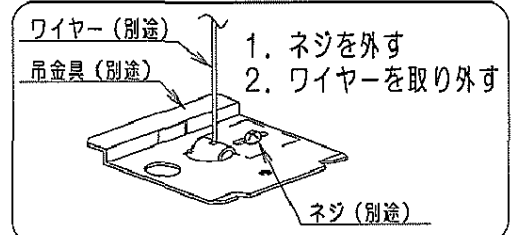
施工は取付方法にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

1 取付前の確認

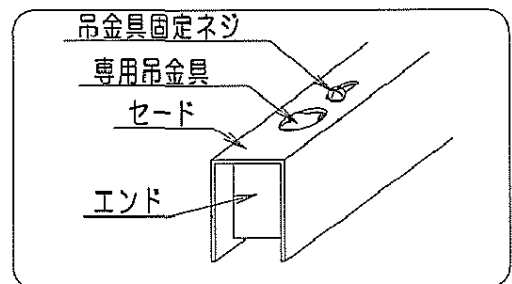
- ・器具質量 (4.9 kg) に耐えるよう、ハンガー (別途) が確実に取付けられているか確認する。不備があると器具落下の原因となります。(詳しくは吊具の取扱説明書をご覧ください。)

2 器具の取付

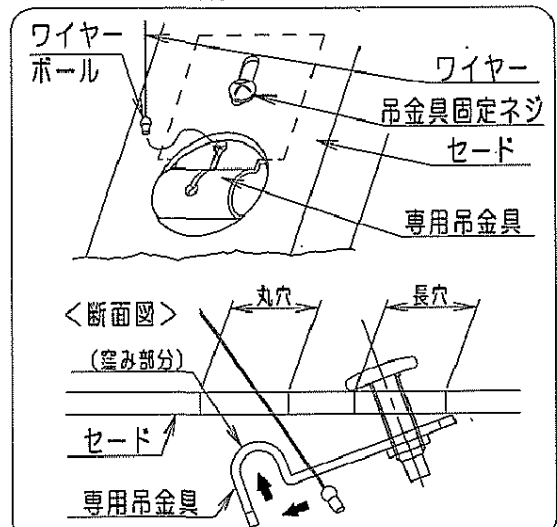
- ・吊具 (別途) のワイヤーを吊金具から取り外す。(吊金具は使用しません。)



- ・吊金具固定ネジを緩める。(ネジには抜け止めがついています。)

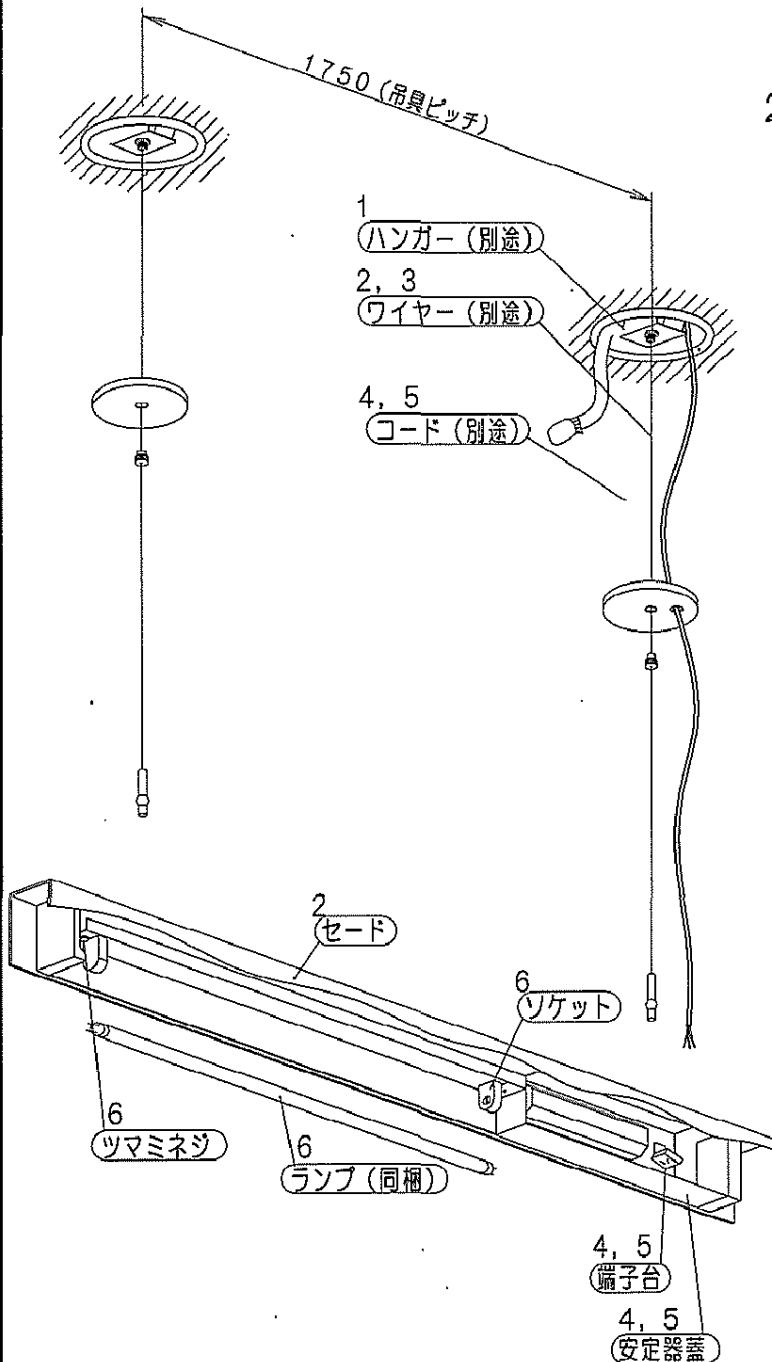


- ・吊具 (別途) のワイヤーボールを専用吊金具の丸穴に通し、窪み部分にスライドする。



- ・吊金具固定ネジを締め付け、専用吊金具を固定する。不備があると器具落下の原因となります。

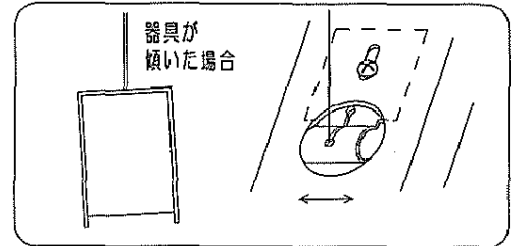
(この続きの施工手順は、次ページをご覧ください。)



各部のなまえと取付方法

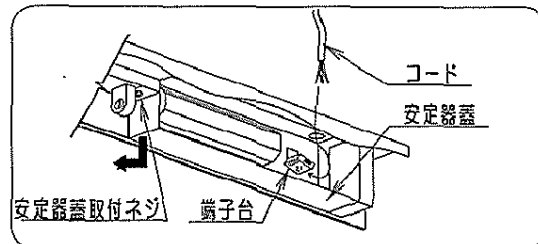
3 吊高さの調整

- ・器具が水平になるように、ワイヤー長さを調整する。
(詳細は吊具取扱説明書をご覧ください。)
- ・調整時は必ず器具を手で支えた状態でおこなう。
器具を支えずに行うと、器具落下の原因となります。
- ・調整後、ワイヤーに異常がないか確認する。
異常があるまま使用すると、器具落下の恐れがあります。
- ・器具が傾く場合には、吊金具固定ネジを緩めて専用吊金具を幅方向に動かし、微調整し再度吊金具固定ネジを締め付けてください。



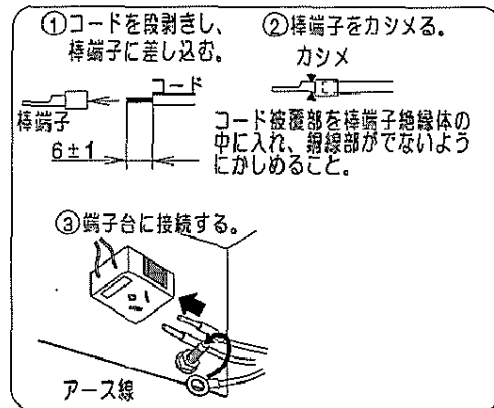
4 器具内へのコード引込み

- ・安定器蓋取付ネジを緩めて安定器蓋を取り外す。
- ・灯具の電源穴よりコード(別途)を通す。
吊具同梱のコードを使用してください。
指定以外のコードでは火災・感電の原因となります。



5 端子台へのコードの接続

- ・コード先端を段剥きし、吊具同梱の棒端子を白黒線のみ確実にかしめる。
- ・棒端子を端子台の速結穴の奥まで確実に差し込む。(白黒線のみ)
- ・D種(第3種)接地工事が必要。
- ・アース線には、器具に付属の丸型圧着端子を確実にかしめ、接続する。
不備があると、火災・感電の原因となります。
- ・安定器蓋の端部をエンドの穴に差し込み、他端をネジ止める。
不備があると安定器蓋の落下の原因となります。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意

- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し対策を講じて下さい。
- ・周囲温度が低い時、点灯直後にランプがピンク色を帯びて暗く感じる場合がありますが、約3分で正常点灯になります。
- ・照明器具を使用しているうちにランプ両端が黒化していきますが、明るさや寿命にはほとんど影響ありません。

保証について

- ・保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れ・ランプ交換 ⚠ 注意 (必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります)

- ・器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤でふかないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。

交換部品

54形Hfスリム蛍光灯

FHF54SEN

1. ツマミネジをねじ回しにて緩める。
 2. 使用済みランプを取りはずす。
 3. 新しいランプをソケットに差込む。
 4. ランプを90°回転させる。
 5. ツマミネジをねじ回しにて締め付ける。
- 取付が不完全な場合、ランプの落下原因となります。

⚠ 警告

- ・火災のおそれあり
指定以外のランプを使用しないこと。
- ・感電・やけどのおそれあり
点灯中や消灯直後はランプやその周りにさわらないこと。

